

島護産泰神社(深谷市)

しまもりさんたいじんじや

ここは島護産泰神社



右手から見たところ



左手から見たところ



振り返って見る/前方が岡遺跡、岡廃寺のエリア



この辺り一帯は榛澤郡衙の郡庁が置かれていたところではないかという



説明板が立っている



しまもりさんたい 島護産泰神社

当社の創立年代は明らかでないが、旧榛沢郡内の開拓が、当社の加護により進められた為、郡内の各村の信仰が厚くなり、総鎮守といわれるようになったと伝えられている。この為に当社の再建及び修築等は、郡内各村からの寄付によりなされた。祭神は瓊々杵尊・木之花咲夜姫命という。

当社を島護（カとうゴ）等とも読まれている）と称するのは、この地方が利根川のしばしばの氾濫により、ことに現在の深谷市北部に位置する南西島、北西島、大塚島、内ヶ島、高島、矢島、血洗島、伊勢島、横瀬、中瀬の地名をもつ地域（四瀬八島）は、常に被害を受けたため、当社をこれらの守護神として信仰したことによると伝えられている。

また、当社は、安産の神として遠近より、信仰者の参拝が多く、この際には、底の抜けた柄杓を奉納することでも有名である。四月一〇日の春祭には、里神楽が奉納される。

平成三年三月

埼玉県

岡部町

前方に社殿が見える



拜殿





右手が拝殿、左手は本殿の覆屋



手水舎



神楽殿



境内社



さまざまな石造物





社殿から振り返って見る



参考ホームページ

<http://kagura999.ikaduchi.com/newpage55santai.html>

<http://glassesmaiden.blog81.fc2.com/blog-entry-1914.html>

<http://www5.big.or.jp/~ejiri/nakasen/exp/vk04/09simamo.htm>

